

しなののうた

太陽が海を染めつつ沈みゆきどすんと落ちてはつと息飲む



杉田小百合

しなののうた

湯の浜の浜辺で貝を拾い
つつ娘と二人連れ水無月の朝

杉田小百合



しなののうた

採りたての踊るアワビをシェフ捌くその腕前に釘付けとなる



杉田小百合

しなののうた

小波と聞きつつ眠る枕辺に潮の香りが夢誘い来る

杉田小百合



しなののうた

海にきて心潤い満ち満ちて明日に踏み出す一歩となりぬ



杉田小百合